

社会福祉法人あおぞら福祉会 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2024年12月13日

社会福祉法人あおぞら福祉会
理事長 森山 幸朗

◆経営方針

自然豊かな環境で穏やかな暮らしができるよう、多様なサービスでひとりひとりに寄り添います。

◆目指す姿

保育・介護・障がい者支援事業で、一人ひとりに寄り添った様々な福祉を提供し、雲南市内の皆様が安心して穏やかな毎日
を過ごせるようにサポートしていきます。

SDGsの達成に向けた取り組み

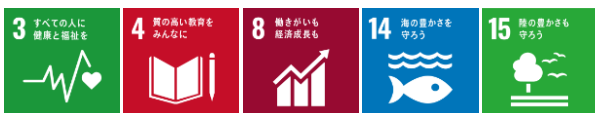
地域に根差した社会福祉法人

地域教育、雇用促進に協力すると共に、地域住民、行政、関係機関と連携を図り、地域の福祉ニーズに対応することで、持続可能な地域社会の実現に貢献いたします。

<具体的な取り組み>

保育・高齢者福祉・障がい者福祉を中心に施設を展開／市や企業と協力し農業や6次産業化を通じて地域活性化・将来性のある事業の実現／地元生産の野菜を給食に利用し地産地消の取り組み

— 関連ゴール —



地域で安心して暮らし続ける福祉の提供

安心できる環境で良質かつ専門的な福祉を提供しつつ、利用者・職員の安全を守っていきます。

<具体的な取り組み>

自然の中で四季を感じながらのびのび育つ保育の提供／利用者也家族も安心して生活できる介護の場を提供／人権研修実施／保育士・介護士の各種資格取得補助／性別を問わない採用・登用／産休・育休の取得奨励

— 関連ゴール —



環境への配慮

未来の地球環境を守るため省エネ・節電の推進、廃棄物の削減やリサイクル等の削減に努めます。

<具体的な取り組み>

環境に配慮した有機農法・耕作放棄地の活用／エアコンや冷蔵庫等の入替・温度管理で省エネ化／施設内照明のLED化／地域自主組織と共同で施設上に太陽光パネル設置／電気自動車配備を計画

— 関連ゴール —



多様性の尊重と働きがい

年齢や性別、障がいの有無に関わらず、全ての人々が平等に扱われる場所、就労の場所を守っていきます。

<具体的な取り組み>

農福連携による障がい者の就労支援／農業の担い手不足解消／委託業務や農産物の加工・包装・販売を通じて社会と関わりを持ち収入を得る場を提供

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS